本文は、2017年2月に英国私立学校連盟（ISI）により行われた監査の評価概要を訳したものです。

評価概要

帝京ロンドン学園は、2014年の「教育規則（私立学校）」と、2015年の「寄宿学校のための国家最低基準法」（ナショナル・ミニマムスタンダード）の基準を満たしており、本監査結果による措置の必要はありません。

第一部：教育の質について

カリキュラムは文書化されており、必要とされる幅広い教育内容が、適切な企画・指導計画によりサポートされています。適切な教材を使うことにより、学生が良い進歩を遂げることを可能にし、生徒の行動管理を効果的に包含しています。学生の成績評価のための適切な枠組みも整っています。

第二部：学生の精神的・道徳的・社会的・文化的発達について

学園の精神と価値が積極的に推進されていることにより、責任と寛容・法を厳守するシチズンといった学生の個人的な発達が促進されています。寮生の意見は積極的に取り入れられ、彼らの見解や懸念事項は、教職員によって適切に考慮されています。

第三部：学生のウエルフェア・健康・安全について

現行の法律上のガイダンスを尊重しながら、学生のウエルフェアを保護・促進するための取り決めがなされており、良い行動が促進され、いじめが現実的に妥当な限り防止されており、火災安全に関するものを含む健康・安全要件が満たされており、応急手当が提供されています。学生は適切に管理されており、必要に応じて入学書類と出席簿が保持されており、リスクアセスメントは計画的に取り組まれています。障害者のためのアクセス計画も策定されています。

新入生には適切な入学プロセスが実施されており、寮生のために適切な医療とヘルスケアと、飲食物・洗濯物や所有物の管理がされています。寮生は友達や家族に適度に連絡をとることができ、アクティビティに参加することができます。寮職員は適切なトレーニングを受け、配備されています。

第四部：教職員と経営者の適正について

学園では、教職員と経営者が適切であるための確認を行い、必要に応じて学訪問者記録を管理しています。寮への訪問者は、適切に監視されています。

第五部：学園の施設と寮について

学生のための適切なトイレ、更衣室、シャワー室や、医療や治療のニーズに応じた適切な寮施設が設備されています。学園施設は、健康安全に相応した基準に維持されており、音響・照明や、水の供給も適切です。運動や体育に適切な屋外スペースが設備されています。寮施設は、学生のニーズ、安全対策と、ウエルフェアに適しています。

第六部：情報の提供について

保護者、監査員、教育省にさまざまな情報が公開・提供されています。これらには、経営者の情報、学園の精神、カリキュラム、入学案内、学生指導、いじめ、健康安全、応急処置、苦情手続の詳細、全学年度の正式苦情件数、および英語が母国語でない学生のための規定も含まれています。また、全学年度の学業成績の詳細、日本の模試結果、監査報告と、少なくとも年一回成績表の提供（保護者のみ）もされています。保護対策方針は、学園のウェブサイトに掲載されています。適切な寮の原則と、実践の陳述も学園によって公表されています。

第七部：苦情処理の方法について

保護者による苦情があった場合は、三段階のプロセス（非公式、正式、三人の委員（その内一人は学園外部者）による聴聞会）を通じて、効率的に処理されています。各段階には、明確な時間的尺度が設けられてあり、第三段階で苦情委員会は、調査結果と勧告を作成して、苦情を申し出た人に伝えています。記録は、苦情結果に関わらず、取られた措置を含めて適切に保管されており、寮に関係する内容のものを特定しています。

第八部：学園におけるリーダーシップとマネージメントの質について

経営者は学園のリーダーとマネージャーに優れたスキルと知識があることを実証し、効果的に責任を果たすことによって各基準が満たされ、学生が満足に学園生活を送れるように促進しています。適切なリーダーシップと、寮管理により、必要な方針と記録が維持され、効果的に管理されています。